

研究課題名	全身麻酔手術をうける高齢患者のせん妄予防看護の標準化～ニーチャムスケールを用いて～
実施責任者	所属・職名：5南病棟 師長、看護師
	氏名： 運天 匠、立松 莉江
研究の概要	<p>せん妄とは入院されることで急に環境が変わったり、病気やつらい症状などのストレスで一時的に落ち着きが無くなる、怒りっぽくなる、時間・日時、場所がわからなくなるという症状が出ることをいいます。</p> <p>入院期間の長期化、認識機能障害などを引き起こします。全身麻酔手術を受ける方は、身体・精神的に大きなストレスが加わることからせん妄リスク因子を多く持ち合わせており、予防的な介入や早期にせん妄から脱するためのケアを必要とします。当病棟ではせん妄を予防し、より早い社会復帰やストレスの少ない環境を提供することを目標としています。そのために、患者様に提供する看護ケアを標準化し、導入前・導入後のせん妄発症にどのような影響があったのか調査します。</p>
対象となる個人情報	<p>電子カルテシステムより年齢、性別、痛みの程度、使用した薬剤の種類、せん妄発症の有無などの情報を収集します。</p> <p>看護ケアを標準化して導入前後の比較を行い、せん妄発症率について調査します。</p> <p>この内容に氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	西暦 2021年 6月 1日より
	西暦 2022年 9月 30日まで
研究対象	名古屋掖済会病院 5 南病棟に全身麻酔手術のために入院された 70 歳以上の患者様が対象となります。